

## 令和7年度 学校経営計画書

学校番号	64	学校名	県立袋井商業高等学校	校長名	花崎 昌史
------	----	-----	------------	-----	-------

### 1 スクール・ミッション

地域社会・地域経済を支える有為な人材を輩出してきた県下有数の伝統を誇る商業専門高校として、実践を伴う主体的な学びとビジネスマナーを育む教育活動を通して、心身ともに健全でたくましく、「知・徳・体」のバランスが取れた人材の育成を目指す。

### 2 目指す学校像

#### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個々の資質・能力の伸長を図り、前向きかつ主体的に社会を生きる力を育成します。</li> <li>● ビジネスに関する実用的で幅広い知識・技能を身に付け、多角的な視野と柔軟な対応力をもって、課題設定・解決する力を育成します。</li> <li>● ビジネスマナーやコミュニケーションスキルを身に付け、品格と教養を兼ね備え、自ら地域経済社会を支えようとする気概を育成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門教科と普通教科をバランスよく配置し、ICTの活用や実用的かつ探究的な学びを推進することで、専門知識・技能、教養、基礎学力を習得させます。</li> <li>● 「袋商ショップ」等の体験的・実践的な教育活動を中心に据え、必要なビジネス知識・技能を習得させるとともに、主体的・発展的に学びに向かわせる「学びのサイクル」を推進します。</li> <li>● ビジネスマナーやコミュニケーションスキルの獲得を目指した教育活動を推進するとともに、特別活動、部活動、地域社会との連携の場等で人間性を高めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習、学校行事、部活動など、校内外の教育活動に積極的に取り組み、自己を高めようとする生徒を求めます。</li> <li>● 他者への思いやり、寛容の心を持ち、他者との関係性を大切にすする生徒を求めます。</li> <li>● 本校の校訓「責任・秩序・礼儀」を理解し、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けている生徒を求めます。</li> </ul>

#### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 【商業教育の活性化】 袋商ショップを中核とした商業教育の活性化、おもてなしの心研修の充実
- イ 【学びを楽しむ心の涵養】 基礎学力の定着と探究的な学びの両立、ICT活用、多様な学びへの対応、読書の推進
- ウ 【社会人基礎力の獲得】 基本的な生活習慣、ビジネスマナー、創造力と協働力の育成
- エ 【多様な生徒への対応】 進路指導の個別最適化、教育相談体制と通級指導の充実
- オ 【地域との連携・協働】 地域の課題解決や魅力発信への取組、信頼される学校づくりの推進
- カ 【自己有用感の育成】 部活動や学校行事への主体的参加姿勢の育成、ボランティア活動の活性化
- キ 【今日的な課題への対応】 人権教育の推進、働き方改革推進、安全な環境の整備
- ク 【学級減への対応】 部活動の精選、分掌の再編、学校行事の見直し

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	商業の学びと実践との融合、「学びのサイクル」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業科目の授業で学んだことを袋商ショップで実践する。</li> <li>・袋商ショップでの実践によって生徒の商業に対する興味関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだことが袋商ショップで役に立ったと感じる生徒 80%以上</li> <li>・袋商ショップを経験することにより学びたい気持ちが高まった生徒 80%以上</li> </ul>	商業科
	<b>袋商ショップの充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級減と時流に適応した袋商ショップへの改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・袋商ショップの日程・開催形態等の検討と改善</li> <li>・新企画、独自店舗の充実</li> </ul>	ショップ課 商業科
	接客技術、ビジネスマナー教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生に「おもてなしの心研修」の充実</li> <li>・2年生には修学旅行に同内容の研修を含める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客技術やビジネスマナーの習得に役立ったと感じる生徒 90%以上</li> <li>・進路意識の向上につながったと考える生徒 80%以上</li> </ul>	商業科 1年部 2年部
	商業検定合格者・資格取得者の増加（中上位層の学力伸長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定受検の推奨</li> <li>・授業、課外授業、部活動による検定対策の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1年)情報処理検定3級合格率 90%以上、簿記検定2級、情報処理検定（ビジネス情報）2級合格率 50%以上</li> <li>(2年)簿記検定2級合格率 50%以上</li> <li>(3年)卒業までに検定1級を取得する生徒 40%以上</li> </ul>	商業科 商業部活動
イ	<b>主体的・探究的な学びの実践</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のUD化推進</li> <li>・探究的な学びに向けた授業改善</li> <li>・1人1台端末（BYOD）の活用</li> <li>・「わかる、魅力ある」授業の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書や教材等、授業のUD化を実践した教員 90%以上</li> <li>・授業での教員の発言 30%削減に取り組んだ教員 80%以上</li> <li>・教育活動でクロムブックを活用している教員 90%以上。</li> <li>・授業に満足している生徒 80%以上</li> </ul>	教務課 全教員
	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの基礎診断に基づく学力の把握と学び直しの実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して基礎力が向上したと思う生徒 80%以上。</li> </ul>	教務課 各学年
	多様な学びへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔授業等への対応及び指導方法、評価方法の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔授業等が必要な生徒に適切に対応する。また、指導方法、評価方法を構築する。</li> </ul>	教務課 学年 全教員
	読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の読書の継続</li> <li>・図書館の整備、読書の勧め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を通して、「成長・感動」したと感じる生徒 80%以上</li> </ul>	進路図書課
ウ	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活習慣の指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康的で規則正しい生活を送ることができた生徒 80%以上</li> <li>・朝食摂取率 90%以上</li> </ul>	生徒支援課
	ビジネスマナー（BM）指導と望ましい人間関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみ、礼儀、マナー指導</li> <li>・集団活動において、望ましい人間関係を構築する。</li> <li>・校則、指導基準の継続的な見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識・ビジネスマナーを意識した生活ができている生徒 80%</li> <li>・集団活動を通して、人間関係の構築ができた生徒 90%</li> <li>・校則、指導基準の見直し</li> </ul>	生徒支援課 全教員

様式第1号

	創造力と協働力の育成	・課題解決型活動の活性化	・春風プロジェクトを受講した生徒の満足度 90%以上	商業科
エ	進路指導の個別最適化	・学年に応じた進路指導の充実 ・学年と進路課との連携	・卒業時に進路決定している生徒 100% ・進路指導が適切にされていると考える生徒 85%以上	進路図書課
	多様な生徒の支援及び特別支援教育の充実	・相談室の活用とカウンセリング機会の充実 ・ケース会議の活用と外部機関、専門家との連携 ・通級指導の充実	・相談室の認知度 80%以上、活用した生徒の満足度 80%以上。 ・ケース会議の積極的な開催 ・通級指導による生徒支援の充実	生徒支援課 教務課
オ	地域連携・貢献・協働の強化	・地域イベントへの参加と地域連携 ・地域防災の担い手としての自覚の育成	・地域と連携した部活動ボランティアの実施 100% ・ハザードマップ、避難所、備蓄の確認など、防災点検を実施した生徒 80%以上	生徒支援課 総務課
	<b>地域に根ざし開かれた学校づくり</b>	・情報発信と広報活動の更なる強化 ・地域、中学校との交流機会の推進	・新HPの構築、SNSによる情報発信の充実 ・広報ポスター、チラシ作成年間 5回以上 ・各種イベントへの参加、地域交流の機会の増加	広報室 全職員
カ	部活動と学校行事の一層の活性化	・部活動において目標を持って主体的に活動に取り組む生徒の育成 ・生徒主体で達成感のある行事運営	・部活動に積極的に参加している生徒 80%以上 ・学校行事に積極的に参加している生徒 80%以上	生徒支援課 各学年
キ	安全と環境に配慮した教育環境の整備	・不良個所の早期改善、計画的な修繕・改修 ・SDG s の実践	・定期的な校内点検と迅速な対応 ・電気・ガス・水道使用量 5%削減、ごみ処分量 5%削減	学校安全衛生委員会 事務部
	人権教育の一層の推進	・いじめアンケート実施、いじめ早期発見・早期対応体制の点検 ・人権教育の推進	・各学期のいじめアンケートでいじめの可能性のある回答への聞き取り実施 100% ・いじめが疑われる事案を認知後、対応の遅れ 0件 ・人権教育に関する研修の実施	生徒支援課 いじめ防止対策委員会
	働き方改革に対する組織的取組	・部活動指導など外部人材の活用 ・やめる・へらす・かえるの実践 ・職員安全衛生委員会の活性化、ストレスチェック事業を更に活用 ・時間外在校時間の縮減	・外部人材活用により教員に負担軽減の実感がある ・やめる、へらす、かえるを活用した業務改善 5件以上 ・職員安全衛生委員会やストレスチェック事業を活用した職場環境等の改善 ・時間外在校時間の 5%縮減	全職員
ク	<b>学級減への対応</b>	・部活動の精選 ・分掌、委員会の再編 ・学校行事の見直し	・部活動数、制度の見直し ・分掌、委員会の縮減、再編 ・実施時期、内容の見直し	教務課 生徒支援課 全職員